

元気なまちかど

No.1 初めてのドラム缶風呂体験 くもい通学台宿

雲井小学校の4年生から6年生までの児童が6月30日から7月2日まで、地域の公民館を宿泊施設として通学しながら共同生活を行いました。

これは雲井自治振興会が主催した通学台宿で、22人の児童が参加しました。合宿中には、災害避難所体験として、ドラム缶風呂での入浴体験を行いました。児童たちは、バケツリレーで山水を汲み、防災かまどベンチを使用して自分たちだけで火を焚き、湯を沸かししました。

初めての体験で最初は戸惑っていた児童たちも、最後には「もつとゆつくり入りたい」と苦勞して沸かしたドラム缶風呂を堪能していました。



▲ドラム缶風呂を体験する児童たち

No.2 アユの塩焼きにかぶりつき 河川環境体験学習

河川環境体験学習が7月1日、水口町酒人地先の野洲川で開催され、柏木小学校5年生32人が参加しました。

この学習は、普段魚と親しむ機会の少ない子どもたちが元気なアユを放流し、命の尊さや河川保護を学ぶもので野洲川・杣川を愛する会と野洲川漁業協同組合が実施しています。

稚アユの放流後には、焼きたてのアユの塩焼きが用意され、児童たちは「いつも食べている魚よりおいしい」と、新鮮なアユにかぶりついていました。



▲川原でアユの塩焼きを食べる児童

No.3 家族に感謝を込めて 岩上自治振興会「おやじのレストラン」

岩上自治振興会主催のミニミニ講座が7月7日、七夕限定「おやじのレストラン」と題して開催され、お父さんたちが家族を招いて料理をふるまいました。

市内の和食料理店が場所を提供し、5人のお父さんたちが参加しました。参加者は、午前中から料理の仕込みを開始し、包丁を片手に慣れない料理に奮闘していました。

夕方に家族が来店すると、お父さんはみんなに眺められながら料理を仕上げました。出された料理を口にはこぶと家族からは「とてもおいしい」と笑みがこぼれていました。



▲家族のために腕をふるう参加者



▲推進委員に挨拶をする中嶋市長

No.4 犯罪のない地域社会をめざして 社会を明るくする運動全国強調月間

「社会を明るくする運動強調月間」の初日である7月1日、市内の保護司や更生保護女性会などが訪れ、中嶋市長に内閣総理大臣メッセージを伝達しました。

この運動は、毎年7月を強調月間とし、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

この月間を機に更生について市民の方に理解を深めていただくため、駅や量販店などでは街頭啓発を実施しました。

であいこうが

DEAI KOKA

INTERVIEW

▶切り絵を始めたきっかけは？

中学校3年生の時に選択科目の美術で切り絵をはじめたのがきっかけです。その後、個人的に趣味で続けていたのですが、水口曳山の切り絵制作が新聞等にも取り上げられたことで個展を開催することになりました。



▲水口囃子の切り絵

▶水口囃子等の切り絵は、イメージだけで切っていくのですか？

水口囃子等は地域の方々モデルになり、必ず下絵を自分で描いています。切り絵は、カッターを使用切っていくのですが、モデルの方の顔の表情や力強さ、女性のやわらかさを描くために、切り方には工夫を凝らします。そんなこだわり持ちながらも、専用のカッターでなく、どこにでも販売されている100円カッターを使用していることには、よく驚かれます。

▶今後作りたい作品はありますか？

『何になりたいかより、何がしたいかが大事』と子どもたちにはよく言っています。私は切り絵をとおして、沢山の方に会いたいと思っています。出会った方が、私に新たな世界を教えてくれるからです。今後も新しい出会いから、私の心を駆り立てるようなリクエストがあれば、新たな作品に挑戦していきたいと思っています。



▲切り絵の指導をする中村さん

切り絵が繋ぐ出会い

切り絵作家 中村学さん

今回は、本業の理容師の傍ら切り絵作家として活躍されている中村学さんにお話を伺いました。中村さんは、個展をはじめ、小学校の卒業制作授業やイベントをとおして切り絵の楽しさを教えておられます。水口囃子や水口曳山にちなんだ作品が有名ですが、7月18日にみなくち子どもの森で開催された教室では、講師を務められ、初めて昆虫の切り絵にも挑戦されました。